

地域人材ネット

ICT人材「住民ディレクター」で 地域とメディアをプロデュース

岸本 晃 (きしもと あきら)

株式会社 プリズム 代表取締役



○登録者情報

所在地

兵庫県加古川市

略歴

14年間熊本の民放に在職。「ズームイン！！朝!」、「24時間テレビ」、「NNNドキュメンタリー」、「11PM」など日本テレビ系列の全国放送番組と住民主体の地域ドラマ、地域活性化応援番組を多数プロデュース。在職中に「地域づくりの手法」としての「テレビ」に着目、番組づくりの経験が総合的な企画力を培う「住民ディレクター」を提唱。

平成8年、「住民ディレクター養成講座」を核に地域づくり支援会社を起業。15年間で北海道から九州まで30地域以上の地域現場に入り込み地域活動をプロデュース。現在全国ネットワークで地域課題を協働で解決する相互扶助システムづくりに取り組んでいます。(株)プリズム代表取締役、NPOくまもと未来理事長、一般社団法人八百万人理事長。

著書・論文等

番組づくりは地域づくりの仮想現場 地域もメディアも創る住民ディレクター
(月刊地方自治職員研修2011年)
NHKスペシャル「変革の世紀2」(2002年／NHK出版:共著)
パブリックアクセスを学ぶ人のために(2002年／世界思想社:共著)
岸本晃の住民ディレクターNews1～7(2010年～)

○ICT人材「住民ディレクター」で地域とメディアをプロデュース

取組の内容

「住民ディレクター」は「暮らしの知恵」を受発信することで、「豊かな地域を創造する」地域づくりの担い手となる人材です。「取材」は住民同士の気軽な対話から始まるためコミュニケーションの深化が容易です。「編集」は地域の等身大の現実を認識し、人・歴史・自然資産など散在している地域の資源を総合化して地域住民に映像で「見える化」する作業です。「放送」は地域で積み重ねられた貴重な知恵の伝達と創造の手段(地域メディア)となるため、地域課題の「議論の場」を提供し解決策やビジョンを共有する「生活創造メディア」となります。

住民ディレクターの運営理念は「住民自治精神」で「高齢者や女性、子どもでも簡単に使える」手軽な「ICT利活用能力」を身につけます。人材養成にはOJT(On The Job:現場で仕事しながら伝える手法)とICTで学ぶネット活用を併用しています。大事な情報は「ニュース」で発信し、「ドキュメンタリー」で課題を明確にし、「ドラマ」というフィクションでビジョンを描く。また地域産品や観光資源などの魅力を「バラエティ」で見せて「テレビショッピング」的に販売することがテレビ的手法の総合的な活用です。過疎に悩む中山間地や離島、大都市東京の六本木や杉並、大都市に依存して存在感が薄い地方都市、さらにその地方都市近郊区町村等々。多様な地域をつないで「新しい公共」の場として全国ネットワーク化を推進中です。多種多様な能力を持った老若男女の「地域スター」を生み出しています。住民ディレクターは地域の本質を見極めたオリジナルメディアの創出を行うことで確実に地域活性化に貢献しています。これまで取り組んだ地域は、熊本県山江村をはじめ兵庫県佐用町、福岡県東峰村の自治体や東京都杉並区の教会通り商店街や長野市のボランティアセンターなど多岐に渡っています。

実績

- ・日本初の住民制作番組「使えるテレビ」を熊本ケーブルテレビにてプロデュース、最長寿番組として現在もNPOと協働制作中(1996年4月～)
- ・くまもと未来国体にて120人の住民ディレクターを養成。イベントFM放送局を開局し3ヶ月間1日13時間の放送をプロデュース。(1999年)
- ・熊本朝日放送(民放)にて住民ディレクター番組プロデュース。2年間で約100本の30分番組を住民ディレクターが制作・放送(2000～2001年)
- ・富山チューリップテレビ(民放)にて住民ディレクター番組のプロデュースサポート(2006年)
- ・兵庫県佐用町の佐用チャンネル開局プロデュース。2009年夏の水害時に住民ディレクターが情報発信と災害記録に大活躍、NPO法人を設立。
- ・東京都杉並区荻窪の教会通り商店街の活性化プロデュース。商店主の番組制作、発信による活性化で東京都商店街グランプリ受賞。
- ・福岡県東峰村のケーブルテレビ「とうほうTV」開局プロデュース。ニュースから村民CMまで地域のあらゆる分野の番組化を進行中。(2010年～)
- ・その他民放、衛星放送、ケーブルテレビ、インターネットテレビ、FMラジオなど5分番組に換算して約5000本の住民制作コンテンツを制作サポートしてきました。

工夫した点や苦労した点

住民一人一人の心のうちにある気持ちの表現、本音を基本に番組化することです。老若男女、職業分野で全く異なる住民一人一人のニーズを肯定的に受け入れ、どうやれば実現できるかを一緒に考え、一緒につくります。その経験が地域づくりの企画力に確実につながりますので特に最初の1、2年に手間ひまを惜しまないことが肝心です。技術ではなくて「何を伝えたいか」を明確にする訓練が肝要で必ず自発的な動きになっていきますから動き始めたら寄り添うようなサポート態勢を維持することです。

ひとことPR

民放時代から現在に至るまで現場主義で一貫してやってきました。座学は最低限にとどめ、即実践の楽しさをお伝えできるので身体を動かすことで企画力を自然と身につけていきます。農林水産業の振興から観光、福祉、医療、教育などあらゆる分野で実践してきましたから出来ないことはありません。企画力をつけながら映像コンテンツが形になっていきますのでICT時代に最適の手法です。時代は「住民ディレクター」からお金を産み出し上手に使える「住民プロデューサー」の時代になりすでに多くの住民プロデューサーが活躍中です。

今年の1月5日からNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の追走番組「官兵衛で國創り」を全国を結んで毎週生放送をしています。生番組を創る現場が人と人、地域と地域をつなぎ新たな地域活性化策としてNHKはじめマスコミにもかなり注目されています。最終話の12月には北海道から九州沖縄までの地域をつなぎ26時間まちづくり、地域活性化策の成果をリレーレポートします。ICTを生かしたまちづくりの手法として今後大いに成長する分野です。



人材ネットすみっこ

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他(情報発信、情報化人材「住民ディレクター」育成)
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

(株)プリズム ホームページ	http://www.prismj.jp/
岸本晃の住民ディレクターNews	http://blog.goo.ne.jp/0811prism
岸本 晃のfacebook	https://www.facebook.com/akira.kishimoto1
とうほうTV	http://www.tohotv.jp

連絡先

メールアドレス	prism.k[アットマーク]nifty.com	その他
---------	--------------------------	-----

※メールを送る際は[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る